

内科的歯科治療
長期維持を目指す暫間治療



CDRG.著作

ウェラ社(独)の3in1

“ながもちする治療”の意識のズレ

抜かないで…

長持ちする
治療を…

歯を
長持ち…



歯医者の考える“ながもち”

一生もちます。

『脱落のない充填』
『再治療のない歯内療法』
『永久補綴物』

が
実現可能なら、8020運動とは？

弱っている歯は
サッサと抜いて…



長持ちする治療を意識して
長持ちしそうな歯を抜歯，あるいは抜髄する？

歯科は，医学の中で，診断の軽視されている分野

何を根拠に「長持ちしそうな」のか？

診断

歯科の診断 — どう治療するか
生かすか殺すか

医科の診断 — どう治療するか

歯科医達に『ながもち治療』の実感はあるか？

— 何年で「長持ち」なのか？

長持ちしない理由

1. 悪条件の口腔環境

・口腔常在菌

・外(傷)力

2. 云いたくないが“ウデ”



長持ちする治療はない！

長持ちさせる治療技術は幻想！！

頼るは、

『良好な口腔環境は、

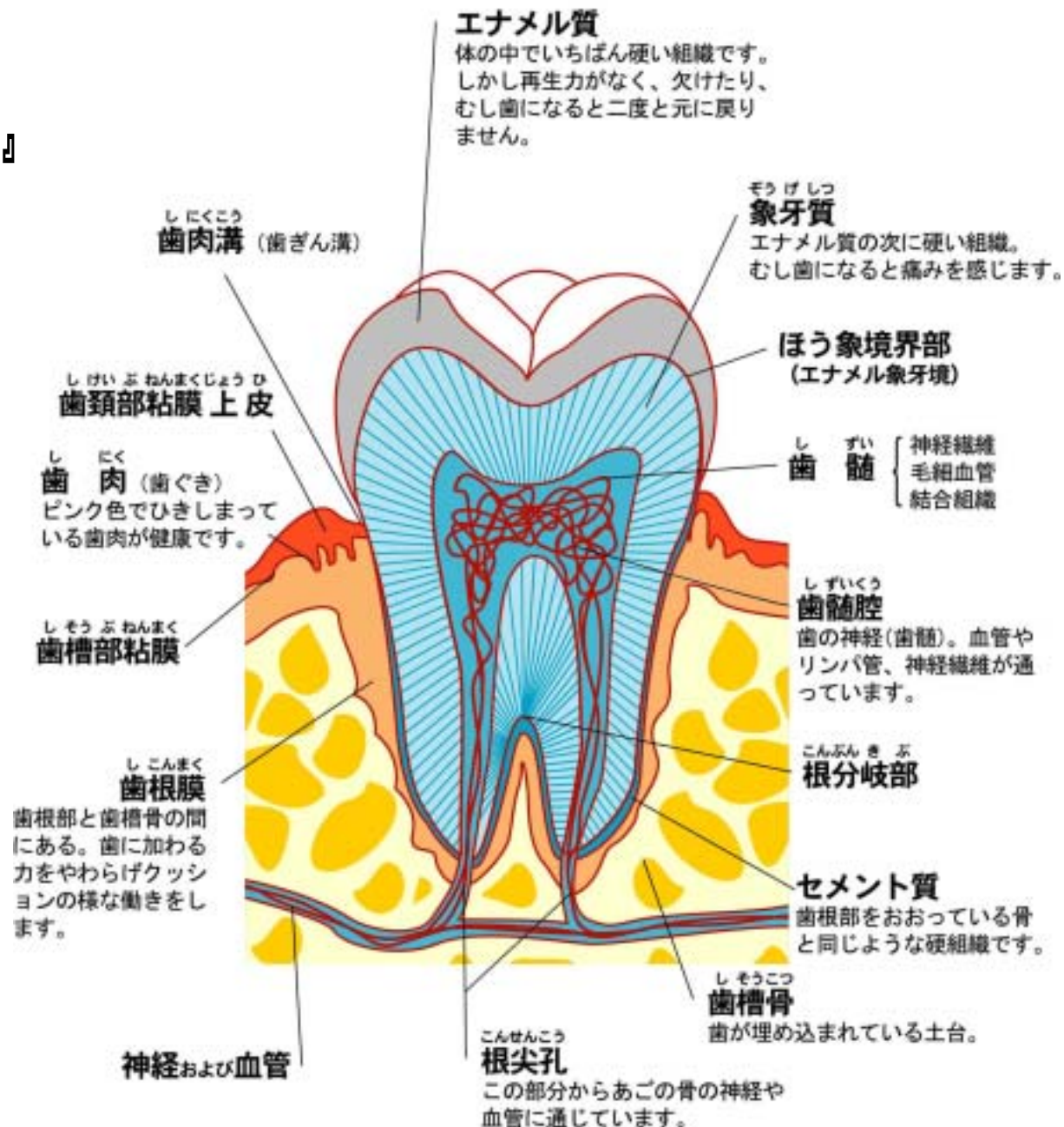
- ・プラークコントロール
- ・咀嚼のリハビリ
- ・咬合管理



七難隠す。』

- ・二次う蝕
- ・歯周病の悪化
- ・根管の再感染

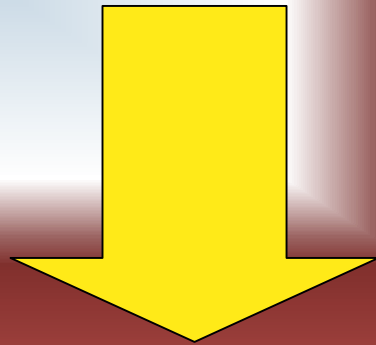
抜歯に適応症があり、 『治療しても治らなかった』 が無いのは 何故か？



内科の患者は、
『万全を尽くしたが、回復しない時に、
はじめて死がある』

治療による組織修復が期待されている。

- ・長持ち治療技術は、幻想。
- ・口腔環境は七難隠す。
- ・たとえ1週間、1ヶ月でも歯の延命を図る。
- ・口腔にも組織修復



維持を目指す“**暫間治療**”の成立

長期維持を目指す暫間治療こそ 内科的歯科治療の真髄

- ・再治療はあたり前
- ・歯の切削は最小限ー接着
- ・臨床的不快症状がなく、機能し、健康に害がなければ、
口腔内に存在していても良い。デワナイカ
- ・実現する為の具体的なやり方がLSTR 3Mix-MP法である。